

E お手入れ方法

いつまでもご愛用いただくために、日頃のお手入れは次のことに注意してください。

- ◆御使用後は本体に水滴が残らないように乾拭きをして下さい。
 - ・汚れがひどい時は適度に薄めた中性洗剤でお手入れし、洗剤が残らないように洗浄して下さい。
- ◆水栓の表面を傷つけるおそれがある次のものは使用しないでください。
 - ・磨き粉等の粒子を含んだ洗剤（研磨剤入り洗剤）
 - ・シンナー、ベンジン等の溶剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシ等

F 安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果（傷害・物損）を生む事柄です。安全に関する重要な内容を記載しておりますので必ず守ってください。

用語および記号の説明	
注意 …… 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか物的損害が発生する危険な状態が想定されます。	
 …… 「注意してください！」上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。	 …… 「指示した場所に触れてはいけません！」
 …… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）	 …… 「指示通りにしてください！」（一般的な行動指示記号です。）

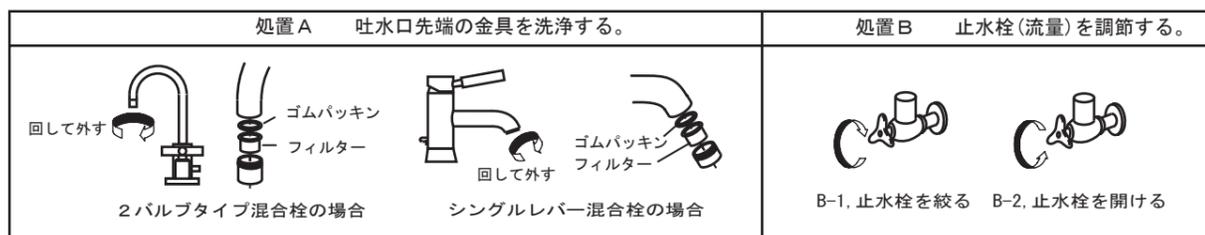
使用上の注意事項

注意	
 高温の湯をお使いの時には吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。	 本製品と同時に他の水栓設備を御使用になる場合は、水圧変化により高温のお湯が出る場合があります。やけどをする恐れがありますのでご注意ください。
 高温の湯をお使いの後は器具内に高温の湯が残らないようにしばらく水を流してください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	 (寒冷地で御使用の場合) 凍結が予想される際は配管の水抜操作と水栓金具の水抜操作を行ってください。凍結破損で漏水し家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 湯を止める時は必ず湯側のハンドルから閉めてください。次に使用すると器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。	 急なハンドル操作は配管からの漏水を起こす事がありますのでゆっくり操作してください。漏水で家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
 湯をお使いになる時は、必ず水側から開栓してください。その後徐々に湯側を開栓し、好みの温度に調節してください。湯側を先に開栓すると高温の湯が吐水し、やけどをするおそれがあります。	●漏水した場合の処理 漏水した場合は元栓または止水栓を閉めてください。ポンプをお使いの場合はポンプを止めてください。修理に関しては必ず専門の業者に依頼をしてください。

G 修理を依頼される前に

異常を感じたら修理を依頼される前に下記の事項をご確認ください。次の事項をご確認をされても直らない場合は、取付工事店または当社までご相談ください。

現象	調べて頂くところ	処置
・吐出量が少ない。 (少なくなってきた)	1. 吐水口先の金具にゴミや水アカが詰まっているか? 2. 止水栓を絞りが過ぎているか?	A B-2
・温度調節がうまくいかない。 ・水、または高温の湯しか出てこない。	1. 吐水口先の金具にゴミや水アカが詰まっているか? 2. 止水栓が付いている場合、湯または水の止水栓を適度な状態に調整する	A B-1 B-2
・水の量が多すぎて使いづらい。また使用時に高い音がする。	1. 止水栓が付いている場合、止水栓を適度な状態に絞る。	B-1



製造元



ドンブラハ社(ドイツ)

輸入総代理店

株式会社 **リライアンス**



〒106-0031 東京都港区西麻布3-16-28 製品についてのお問い合わせはルベイン霞町

http://www.reliance.co.jp TEL 03-3479-9202~4 FAX 03-3479-9200

2008.05

A 施工方法

◇本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。

◇この説明書に記載されていない方法で施工が行われ、それが原因で故障等が発生した場合は、製品の保証にはいっさい応じかねます。

◇施工完了後必ず通水試験を行い正常に機能することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法及びお手入方法を説明してください。またこの説明書はご使用になるお客様にて保管して下さい。

B 使用条件

- 最低使用圧力 0.15MPa
- 最高使用圧力 1.0MPa
- 推奨使用圧力 0.25MPa~0.5MPa
- 最高使用温度 80°C

◇給水圧力が0.5MPaを超える場合は、減圧弁などで適正圧力に減圧して下さい。



1 穴型シングルレバー洗面用混合栓
1 穴型2バルブ洗面用混合栓

該当品番					例外商品
22.302.890.xx	33.500.480.xx	33.500.750.xx ◎	33.505.225.xx	33.539.625.xx	22.321.880.xx
22.305.360.xx ◎	33.500.525.xx	33.500.870.xx	33.513.880.xx ◆		
22.500.360.xx ◎	33.500.530.xx ◎	33.500.880.xx ◆	33.513.881.xx ◆		
22.510.335.xx	33.500.540.xx ◎	33.501.625.xx	33.521.625.xx		
22.510.470.xx	33.500.620.xx	33.500.710.xx ◎	33.521.750.xx ◎		
22.512.360.xx	33.500.625.xx	33.505.710.xx ◎	33.534.880.xx		
22.512.890.xx	33.500.630.xx	33.500.885.xx ◎	33.536.625.xx		
22.513.890.xx	33.500.635.xx	33.533.885.xx ◎	33.536.870.xx		
22.534.890.xx	33.500.645.xx	33.534.710.xx ◎	33.537.625.xx		
33.500.220.xx ◎	33.500.650.xx		33.537.870.xx		
33.500.325.xx ◎	33.500.700.xx		33.538.625.xx		

品番末尾に◎マークがついているもの：台座がありません。
品番末尾に◆マークがついているもの：レバーハンドルは別品番となります。

C 取付手順

1. 取付寸法の確認

取付穴径はφ35となります。
・右図参照

2. 給水管内の清掃

・配管工事後、必ず給湯・給水管内のごみなどを十分に洗い流してください。

3. 部品確認

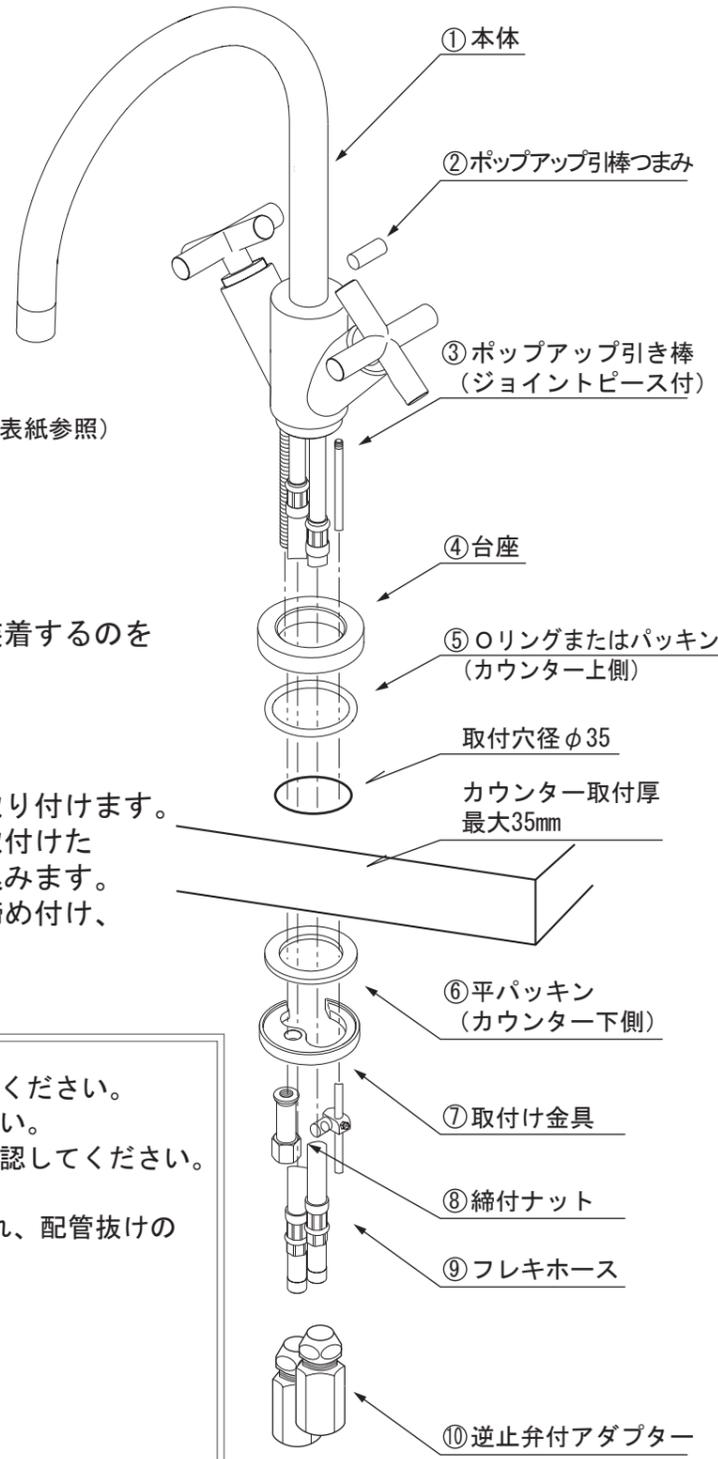
・右図参照
※台座を含まないものもあります。(表紙参照)
※レバーハンドルが別品番となるものもあります。(表紙参照)

4. 本体の固定

右図のような順番で、各部品を装着し、最後に⑧締付ナットで固定します。(この時にポップアップの引き棒を本体に装着するのを忘れないで下さい。)

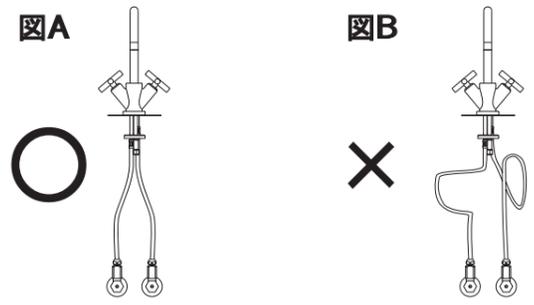
5. 本体と止水栓の接続

・同梱の⑩逆止弁付アダプターを止水栓に取り付けます。
・水栓の⑨フレキホースを湯水の止水栓に取付けた逆止弁付アダプターの奥まで確実に差し込みます。
・最後に⑩逆止弁付アダプターのナットを締め付け、フレキホースを固定します。



⚠ 取付時の注意

接続の際は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締付不足、締付過ぎにならないようにしてください。フレキホースを上引っ張って抜けないことを確認してください。図Aのような配管にしてください。図Bのような無理な配管をしないで下さい。水漏れ、配管抜けの原因となります。



6. 通水確認

施工完了後、必ず接続部から水漏れがないか確認してください。

【22. 321. 880. XX (ポップアップ無し)】

取付手順

1. 取付寸法の確認

取付穴径はφ28~35となります。
・右図参照

2. 給水管内の清掃

・配管工事後、必ず給湯・給水管内のごみなどを十分に洗い流してください。

3. 部品確認

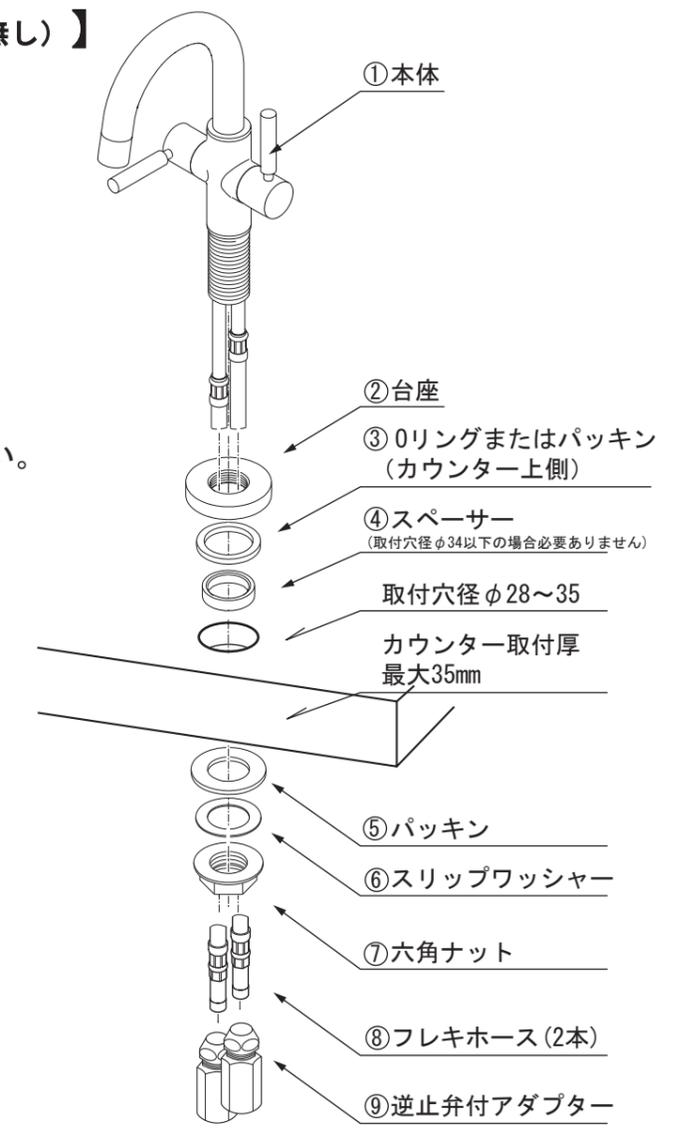
・右図参照

4. 本体の固定

右図のような順番で、各部品を装着し、最後に⑦六角ナットで固定します。

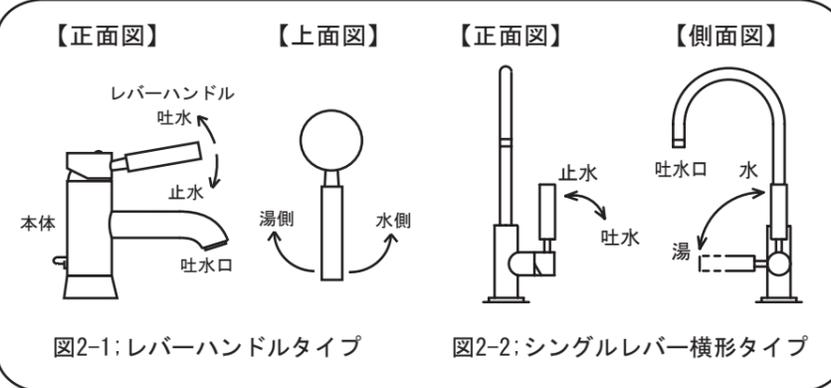
5. 本体と止水栓の接続

本体と止水栓の接続及び通水確認は、左記5及び6を参照してください。



D 使用方法

外観図



ご使用方法

◆湯水開閉栓 <水量調節・温度調節>
レバーハンドルタイプはレバーを上げると吐水し、下げると止水します。また、レバーを左方向へ回すと湯側、右方向へ回すと水側に調整が出来ます。(図2-1, 参照)
シングルレバー横型タイプはレバーハンドルを横方向に倒すと吐水、垂直にすると止水となります。
また、レバーハンドルを垂直に立てた状態で水側となり手前側に倒した状態で湯側に調整が出来ます。(図2-2, 参照)
ポップアップレバー付きの場合はレバー引くとポップアップの栓が締まり、元に戻すと栓が開きます。